

宮城県感染症診査協議会及び結核診査部会について

1 職務内容

- (1) 就業制限の通知、入院勧告、入院期間の延長、結核患者の医療に必要な費用負担に関し、必要な事項を審議する。
- (2) 緊急を要する就業制限の通知をした場合及び勧告による72時間以内の応急的な入院をさせた場合の報告に関し意見を述べる。
- (3) 結核の診査件数が多いことから、結核診査部会を設置し、結核に係る事項を審議する。

2 委員の構成等

<感染症診査協議会>

- ・委員 6人以内で組織
- ・構成 感染症指定医療機関の医師、感染症の患者の医療に関し学識経験を有する者(感染症指定医療機関の医師を除く)、法律に関し学識経験を有する者並びに医療及び法律以外の学識経験を有する者で構成する。ただし、その過半数は、医師のうちから任命しなければならない。
- ・任期 2年

<結核診査部会>

- ・委員 6人以内で組織
- ・構成 感染症指定医療機関の医師、感染症の患者の医療に関し学識経験を有する者(感染症指定医療機関の医師を除く)、法律に関し学識経験を有する者並びに医療及び法律以外の学識経験を有する者で構成する。ただし、その過半数は、医師のうちから任命しなければならない。
- ・任期 2年

3 委員の報酬

1回につき11,600円（旅費は別に支給）

4 会議の運営

(1)開催回数

- 感染症診査協議会：一類感染症の患者及び二類感染症又は三類感染症又は新型インフルエンザ等感染症の患者又は無症状病原体保有者の発生により審議を必要とした場合に開催
- 結核診査部会：年24回定例開催

(2)会議の開催

- ・会議は、医師である委員のうちから2人、法律に関し学識経験を有する者並びに医療及び法律以外の学識経験を有する者のうちから1人以上が出席しなければ開くことができない。

宮城県感染症診査協議会委員名簿

(敬称略)

	委員区分	氏名	所属・職名	職種
1	感染症の患者の 医療に関し学識経験を有する者	三木 祐 ミキ ユウ	独立行政法人国立病院機構仙台医療センター 総合内科部長	医師
2	感染症の患者の 医療に関し学識経験を有する者	児玉 栄一 コタマ エイチ	東北大学災害科学国際研究所 災害医学研究部門災害感染症学分野 教授	医師
3	感染症の患者の 医療に関し学識経験を有する者	神垣 太郎 カガキ タロウ	国立感染症研究所 感染症疫学センター第6室室長	医師
4	感染症指定 医療機関の医師	石井 正 イシイ マサ	東北大学病院総合地域医療教育支援部部長 東北大学大学院 医学系研究科総合医療学分野 教授	医師
5	法律に関し 学識経験を有する者	石田 憲司 イシダ ケンジ	石田憲司法律事務所 所長	弁護士
6	医療及び法律以外の 学識経験を有する者	残間 由美子 ザンマ ユミコ	公益財団法人宮城厚生協会 本部 感染症対策担当副看護部長	看護師

任期：令和5年4月1日から令和7年3月31日まで

感染症法における感染症の分類

感染症 種類	疾病名	届出の要否			届出方法			法に基づく入院勧告の可否			就業制限通知の可否		
		患者	疑似症	無症状病原体保有者	定点種別	時期	内容	患者	疑似症	無症状病原体保有者	患者	疑似症	無症状病原体保有者
1	エボラ出血熱	○	○	○	(全数)	直ちに	a	○	○	○	○	○	○
1	クリミア・コンゴ出血熱	○	○	○	(全数)	直ちに	a	○	○	○	○	○	○
1	痘そう	○	○	○	(全数)	直ちに	a	○	○	○	○	○	○
1	南米出血熱	○	○	○	(全数)	直ちに	a	○	○	○	○	○	○
1	ペスト	○	○	○	(全数)	直ちに	a	○	○	○	○	○	○
1	マールブルグ病	○	○	○	(全数)	直ちに	a	○	○	○	○	○	○
1	ラッサ熱	○	○	○	(全数)	直ちに	a	○	○	○	○	○	○
2	急性灰白髄炎	○	×	○	(全数)	直ちに	a	○	×	×	○	×	○
2	結核	○	○	○	(全数)	直ちに	a	○	○	×	○	○	×
2	ジフテリア	○	×	○	(全数)	直ちに	a	○	×	×	○	×	○
2	重症急性呼吸器症候群(病原体がコロナウイルス属SARSコロナウイルスであるものに限る。)	○	○	○	(全数)	直ちに	a	○	○	×	○	○	○
2	中東呼吸器症候群(病原体がベータコロナウイルス属MERSコロナウイルスであるものに限る。)	○	○	○	(全数)	直ちに	a	○	○	×	○	○	○
2	鳥インフルエンザ(H5N1)	○	○	○	(全数)	直ちに	a	○	○	×	○	○	○
2	鳥インフルエンザ(H7N9)	○	○	○	(全数)	直ちに	a	○	○	×	○	○	○
3	コレラ	○	×	○	(全数)	直ちに	a	×	×	×	○	×	○
3	細菌性赤痢	○	×	○	(全数)	直ちに	a	×	×	×	○	×	○
3	腸管出血性大腸菌感染症	○	×	○	(全数)	直ちに	a	×	×	×	○	×	○
3	腸チフス	○	×	○	(全数)	直ちに	a	×	×	×	○	×	○
3	パラチフス	○	×	○	(全数)	直ちに	a	×	×	×	○	×	○
4	E型肝炎	○	×	○	(全数)	直ちに	a	×	×	×	×	×	×
4	ウエストナイル熱	○	×	○	(全数)	直ちに	a	×	×	×	×	×	×
4	A型肝炎	○	×	○	(全数)	直ちに	a	×	×	×	×	×	×
4	エキノコックス症	○	×	○	(全数)	直ちに	a	×	×	×	×	×	×
4	黄熱	○	×	○	(全数)	直ちに	a	×	×	×	×	×	×
4	オウム病	○	×	○	(全数)	直ちに	a	×	×	×	×	×	×
4	オムスク出血熱	○	×	○	(全数)	直ちに	a	×	×	×	×	×	×
4	回帰熱	○	×	○	(全数)	直ちに	a	×	×	×	×	×	×
4	キャサナル森林病	○	×	○	(全数)	直ちに	a	×	×	×	×	×	×
4	Q熱	○	×	○	(全数)	直ちに	a	×	×	×	×	×	×
4	狂犬病	○	×	○	(全数)	直ちに	a	×	×	×	×	×	×
4	コクシジオイデス症	○	×	○	(全数)	直ちに	a	×	×	×	×	×	×
4	サル痘	○	×	○	(全数)	直ちに	a	×	×	×	×	×	×
4	ジカウイルス感染症	○	×	○	(全数)	直ちに	a	×	×	×	×	×	×
4	重症熱性血小板減少症候群(病原体がフレボウイルス属SFTSウイルスであるものに限る。)	○	×	○	(全数)	直ちに	a	×	×	×	×	×	×
4	腎症候性出血熱	○	×	○	(全数)	直ちに	a	×	×	×	×	×	×
4	西部ウマ脳炎	○	×	○	(全数)	直ちに	a	×	×	×	×	×	×
4	ダニ媒介脳炎	○	×	○	(全数)	直ちに	a	×	×	×	×	×	×
4	炭疽	○	×	○	(全数)	直ちに	a	×	×	×	×	×	×
4	チクングニア熱	○	×	○	(全数)	直ちに	a	×	×	×	×	×	×
4	つつが虫病	○	×	○	(全数)	直ちに	a	×	×	×	×	×	×
4	デング熱	○	×	○	(全数)	直ちに	a	×	×	×	×	×	×
4	東部ウマ脳炎	○	×	○	(全数)	直ちに	a	×	×	×	×	×	×
4	鳥インフルエンザ(鳥インフルエンザ(H5N1及びH7N9)を除く。)	○	×	○	(全数)	直ちに	a	×	×	×	×	×	×
4	ニパウイルス感染症	○	×	○	(全数)	直ちに	a	×	×	×	×	×	×
4	日本紅斑熱	○	×	○	(全数)	直ちに	a	×	×	×	×	×	×
4	日本脳炎	○	×	○	(全数)	直ちに	a	×	×	×	×	×	×
4	ハンタウイルス肺症候群	○	×	○	(全数)	直ちに	a	×	×	×	×	×	×
4	Bウイルス病	○	×	○	(全数)	直ちに	a	×	×	×	×	×	×
4	鼻疽	○	×	○	(全数)	直ちに	a	×	×	×	×	×	×
4	ブルセラ症	○	×	○	(全数)	直ちに	a	×	×	×	×	×	×
4	ベネズエラウマ脳炎	○	×	○	(全数)	直ちに	a	×	×	×	×	×	×
4	ヘンドラウイルス感染症	○	×	○	(全数)	直ちに	a	×	×	×	×	×	×
4	発しんチフス	○	×	○	(全数)	直ちに	a	×	×	×	×	×	×
4	ポツリヌス症	○	×	○	(全数)	直ちに	a	×	×	×	×	×	×
4	マラリア	○	×	○	(全数)	直ちに	a	×	×	×	×	×	×
4	野兎病	○	×	○	(全数)	直ちに	a	×	×	×	×	×	×
4	ライム病	○	×	○	(全数)	直ちに	a	×	×	×	×	×	×
4	リッサウイルス感染症	○	×	○	(全数)	直ちに	a	×	×	×	×	×	×
4	リフトバレー熱	○	×	○	(全数)	直ちに	a	×	×	×	×	×	×
4	類鼻疽	○	×	○	(全数)	直ちに	a	×	×	×	×	×	×
4	レジオネラ症	○	×	○	(全数)	直ちに	a	×	×	×	×	×	×
4	レプトスピラ症	○	×	○	(全数)	直ちに	a	×	×	×	×	×	×
4	ロッキー山紅斑熱	○	×	○	(全数)	直ちに	a	×	×	×	×	×	×
5	アメーバ赤痢	○	×	×	(全数)	7日以内	b1	×	×	×	×	×	×
5	RSウイルス感染症	○	×	×	小児科	次の月曜	c1	×	×	×	×	×	×
5	咽頭結膜熱	○	×	×	小児科	次の月曜	c1	×	×	×	×	×	×
5	インフルエンザ(鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症を除く。)	○	×	×	インフル/ COVID-19 基幹(※1)	次の月曜	c1	×	×	×	×	×	×
5	新型コロナウイルス感染症(病原体がベータコロナウイルス属のコロナウイルス(令和二年一月に中華人民共和国から世界保健機関に対して、人に伝染する能力を有することが新たに報告されたものに限る。))であるものに限る。)	○	×	×	インフル/ COVID-19	次の月曜	c1	×	×	×	×	×	×
5	ウイルス性肝炎(E型肝炎及びA型肝炎を除く。)	○	×	×	(全数)	7日以内	b1	×	×	×	×	×	×
5	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	○	×	×	小児科	次の月曜	c1	×	×	×	×	×	×
5	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	○	×	×	(全数)	7日以内	b1	×	×	×	×	×	×
5	感染性胃腸炎	○	×	×	小児科 基幹(※2)	次の月曜	c1	×	×	×	×	×	×
5	急性出血性結膜炎	○	×	×	眼科	次の月曜	c1	×	×	×	×	×	×
5	急性弛緩性麻痺	○	×	×	(全数)	7日以内	b1	×	×	×	×	×	×
5	急性脳炎(ウエストナイル脳炎、西部ウマ脳炎、ダニ媒介脳炎、東部ウマ脳炎、日本脳炎、ベネズエラウマ脳炎及びリフトバレー熱を除く。)	○	×	×	(全数)	7日以内	b1	×	×	×	×	×	×
5	クラミジア肺炎(オウム病を除く。)	○	×	×	基幹	次の月曜	c2	×	×	×	×	×	×
5	クリプトスポリジウム症	○	×	×	(全数)	7日以内	b1	×	×	×	×	×	×
5	クロイツフェルト・ヤコブ病	○	×	×	(全数)	7日以内	b1	×	×	×	×	×	×
5	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	○	×	×	(全数)	7日以内	b1	×	×	×	×	×	×

感染症 類型	疾 病 名	届 出 の 要 否			届 出 方 法			法に基づく入院勧告の可否			就業制限通知の可否		
		患者	疑似症	無症状病原 体保有者	定点種別	時期	内容	患者	疑似症	無症状病原 体保有者	患者	疑似症	無症状病原 体保有者
5	後天性免疫不全症候群	○	×	○	(全数)	7日以内	b2	×	×	×	×	×	×
5	細菌性髄膜炎(侵襲性インフルエンザ菌感染症、侵襲性髄膜炎菌感染症及び侵襲性肺炎球菌感染症を除く。)	○	×	×	基幹	次の月曜	c2	×	×	×	×	×	×
5	ジアルジア症	○	×	×	(全数)	7日以内	b1	×	×	×	×	×	×
5	侵襲性インフルエンザ菌感染症	○	×	×	(全数)	7日以内	b1	×	×	×	×	×	×
5	侵襲性髄膜炎菌感染症	○	×	×	(全数)	直ちに	a	×	×	×	×	×	×
5	侵襲性肺炎球菌感染症	○	×	×	(全数)	7日以内	b1	×	×	×	×	×	×
5	水痘	○	×	×	小児科	次の月曜	c1	×	×	×	×	×	×
5	水痘(入院例に限る。)	○	×	×	(全数)	7日以内	b1	×	×	×	×	×	×
5	性器クラミジア感染症	○	×	×	STD	翌月初日	c1	×	×	×	×	×	×
5	性器ヘルペスウイルス感染症	○	×	×	STD	翌月初日	c1	×	×	×	×	×	×
5	尖圭コンジローマ	○	×	×	STD	翌月初日	c1	×	×	×	×	×	×
5	先天性風しん症候群	○	×	×	(全数)	7日以内	b1	×	×	×	×	×	×
5	手足口病	○	×	×	小児科	次の月曜	c1	×	×	×	×	×	×
5	伝染性紅斑	○	×	×	小児科	次の月曜	c1	×	×	×	×	×	×
5	突発性発しん	○	×	×	小児科	次の月曜	c1	×	×	×	×	×	×
5	梅毒	○	×	○	(全数)	7日以内	b1	×	×	×	×	×	×
5	播種性クリプトコックス症	○	×	×	(全数)	7日以内	b1	×	×	×	×	×	×
5	破傷風	○	×	×	(全数)	7日以内	b1	×	×	×	×	×	×
5	バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症	○	×	×	(全数)	7日以内	b1	×	×	×	×	×	×
5	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	○	×	×	(全数)	7日以内	b1	×	×	×	×	×	×
5	百日咳	○	×	×	(全数)	7日以内	b1	×	×	×	×	×	×
5	風しん	○	×	×	(全数)	直ちに	a	×	×	×	×	×	×
5	ペニシリン耐性肺炎球菌感染症	○	×	×	基幹	翌月初日	c2	×	×	×	×	×	×
5	ヘルパンギーナ	○	×	×	小児科	次の月曜	c1	×	×	×	×	×	×
5	マイコプラズマ肺炎	○	×	×	基幹	次の月曜	c2	×	×	×	×	×	×
5	麻しん	○	×	×	(全数)	直ちに	a	×	×	×	×	×	×
5	無菌性髄膜炎	○	×	×	基幹	次の月曜	c2	×	×	×	×	×	×
5	メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	○	×	×	基幹	翌月初日	c2	×	×	×	×	×	×
5	薬剤耐性アシネトバクター感染症	○	×	×	(全数)	7日以内	b1	×	×	×	×	×	×
5	薬剤耐性緑膿菌感染症	○	×	×	基幹	翌月初日	c2	×	×	×	×	×	×
5	流行性角結膜炎	○	×	×	眼科	次の月曜	c1	×	×	×	×	×	×
5	流行性耳下腺炎	○	×	×	小児科	次の月曜	c1	×	×	×	×	×	×
5	淋菌感染症	○	×	×	STD	翌月初日	c1	×	×	×	×	×	×

(届出事項) a:氏名、年齢、性別、職業、住所、所在地、病名、症状、診断方法、初診・診断・推定感染年月日、感染原因、感染経路、感染地域、診断した医師の住所及び氏名、その他、(保護者の住所氏名)
b1:年齢、性別、病名、症状、診断方法、初診年月日、診断年月日、推定感染年月日、感染原因、感染経路、感染地域、診断した医師の住所及び氏名
b2:年齢、性別、病名、症状、診断方法、初診年月日、診断年月日、推定感染年月日、感染原因、感染経路、感染地域、診断した医師の住所及び氏名、最近数年間の主な居住地、国籍
c1:年齢、性別
c2:年齢、性別、原因病原体の名称、検査方法

※1 インフルエンザ(鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症を除く。)の基幹定点の届出については、届出対象は入院したもので、届出内容は入院時の対応を加える。
※2 感染性胃腸炎の基幹定点の届出については、届出対象は病原体がロタウイルスであるもので、届出内容は原因病原体の名称及び検査方法を加える。